

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1928
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.22, No.7 (1928. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19280701-0143

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

無いではなかつたやうである。氏のマルクス評論が他の諸學者に對するものに比して生氣を欠くもの、如く見受けられることがそれである。マルクス批評として唱へられた數說の中に、嘗て本誌に掲げられた評者の意見をも擧げられたのは、私の榮とする所である。評者はオツペンハイマアに從つて所謂産業豫備軍が資本の高度化(不變資本の割合増大)に依て造り出さるゝものであるならば、資本組成の低度なる農村から都市に向つて勞働者移住の行はれる事實は説明し難いといひ、又ドイツエルに據りしはせぬが、ドイツエルをも引用して右にも述べたやうに、賃銀の高下は勞働力の價值に由ては説明せられぬといつたのである(本誌第十九卷第八號「農民の都市流入」及び第二十二卷第三號「價值論の價值」)。此等の點に就き、森氏は何れもマルクスを辯護せられるのであるが、其論據の説明が、當否はいはずとするも、少くも甚だ不十分である(四四八―四五三頁)。マルクスの見地より見て此等の批評は如何に取り扱ふべきものであるか。氏の如き篤學者の説は切に聽かんと欲する所であるのに、それが充分でないのは遺憾である。

斯く不滿の個條は擧げるもの、著者の記述の周到綿密なるは推重措くべからざる所である。原著者の解釋に疑義ある場合、森氏が諄々として幾多の場合に於ける原著者の文句を引き、諸學者の説を叩き、而して後に其判断を下す態度は懇切を極めて居る。アダム・スミスは果して勞働費用説を棄てたりや棄てざりしやの問題を解く場合の如きは於て、殊に此特長が顯れて居る。一讀者として猶ほ注文したいと思ふ點は尠からぬにもせよ、スミス、リカアドオ、マルサス、マルクス等に關する一新文献として、氏の舊著と同じく本書も初學者専門家の共に一讀を怠るべからざる著作なるは疑ない。望むらくは、氏の今多く據つて立てるマルクスに對して、更に周到なる批評を試みて、其の價值ある研究を大成せらるゝ日の近からんことを(弘文堂書房發行、正價金四圓)。

前號 (第二十二卷 第六號) 目次

上海銀行公會の支那國民經濟に於ける地位に就て	及川 恒忠
經濟生學の研究方法来に就て	勝田 貞次
Yves-Guyot 逝く	永田 清
「パボエフ説分析」並びに「パボエフ及びパボエフ主義」文獻小録	平井 新
古代社會に於ける農業の發達	山本勝太郎
「一デユネーッ住民の書翰」に現れたるサン・シモンの思想	小泉 順三
三田學會雜誌第二十二卷前半總目次	

●一冊定價金五拾錢
●半年分金貳圓九拾錢
●一年分金五圓四拾錢

郵税金壹錢五厘 郵税 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣元宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和三年六月三十日印刷納本
昭和三年七月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌 第二十二卷 第七號
編輯者 江田 範保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵五郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地 金子活版所

發賣元 東京市芝區三田三丁目二番地慶應義塾内
丸善株式會社三田出張所

電話高輪 一九二六

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會